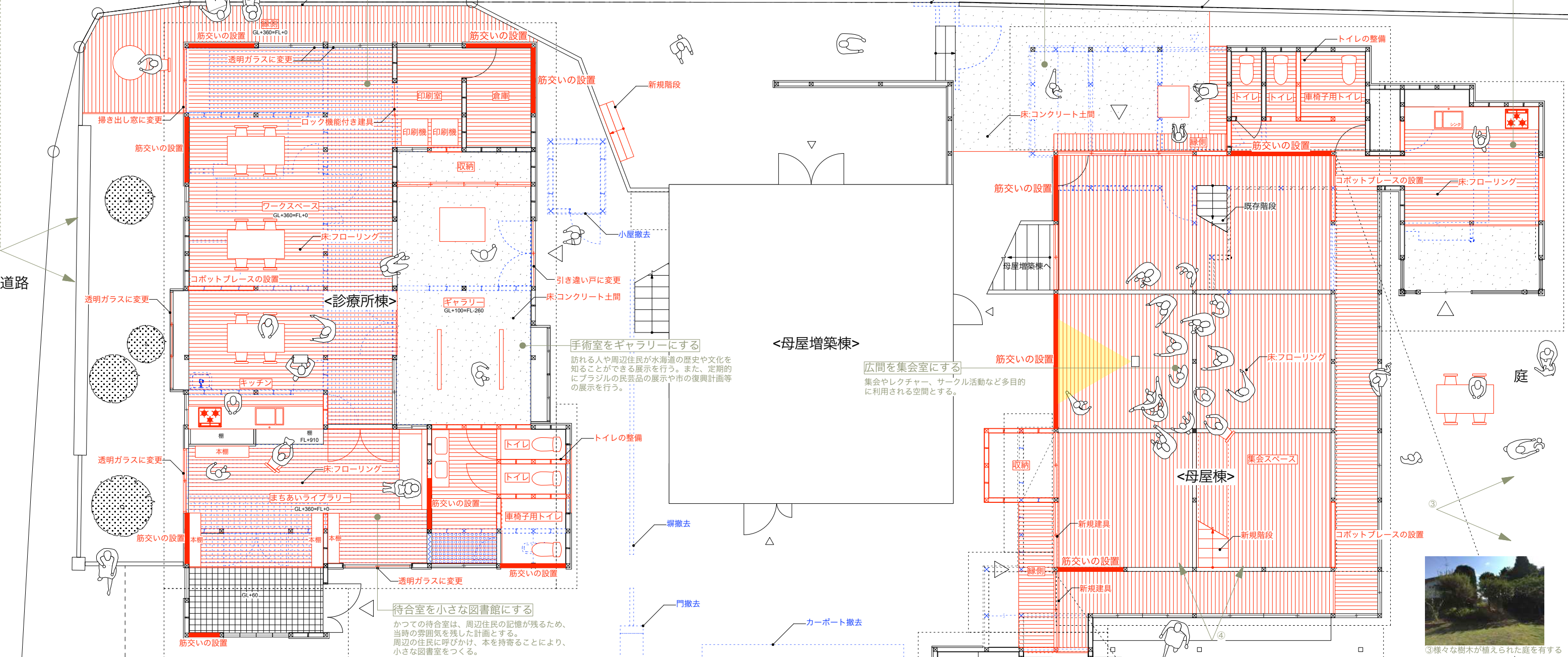


①最寄駅前の道路の突き当たりに位置し、視認性が高い。
②常緑線、水田、筑波山が望める

治療室をワークスペースにする
道路からの視認性が高い北側の治療室をワークスペースとする。この部屋はフリーアドレスで利用され、福祉事業所やボランティアの拠点として利用される。

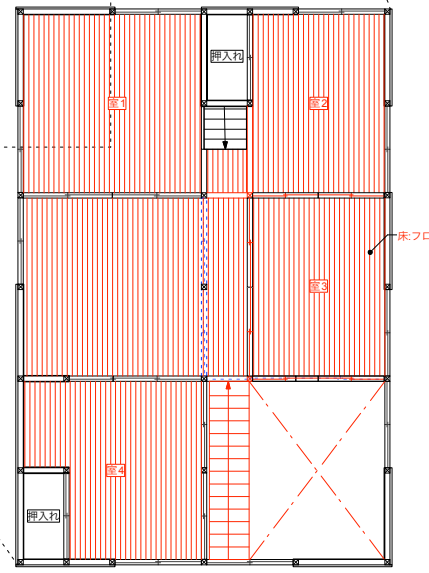
増築部を撤去し、入り口をつくる
道路側に増築された部分を撤去し、入り口を設け、周辺住民が気軽に訪れやすい環境とする。

玄関をキッチンにする
庭に向けた玄関をキッチンに改修し、室内及び屋外の両方につながるキッチンとする。



配置図兼1F平面図(1/100)

— 既存部分
— 改修部分



2F平面図(1/150)



④内部は伝統木造の趣の残る空間となっている。



③様々な樹木が植えられた庭を有する

手術室をギャラリーにする
訪れる人や周辺住民が水海道の歴史や文化を知ることができる展示を行う。また、定期的にブラジルの民芸品の展示や市の復興計画等の展示を行う。

広間を集会室にする
集会やレクチャー、サークル活動など多目的に利用される空間とする。

待合室を小さな図書館にする
かつての待合室は、周辺住民の記憶が残るため、当時の雰囲気を残した計画とする。周辺の住民に呼びかけ、本を持寄ることにより、小さな図書室をつくる。